

2019年10月1日
チャンネル銀河 株式会社

日本・ポーランド国交樹立 100 周年記念

「大王カジミエシュ～欲望のヴァヴェル城～」

2019年12月、ついに日本初上陸！

武力ではなく外交で生き抜いた王の愛と憎しみの物語

CS エンターテインメントチャンネル「チャンネル銀河 歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた」（チャンネル銀河 株式会社、東京都千代田区、代表取締役社長：寺嶋博礼）は、2019年12月よりポーランドの歴史大作「大王カジミエシュ～欲望のヴァヴェル城～」を日本初放送することを決定しました。



©Telewizja Polska S.A.

ポーランド史上で唯一“大王”と呼ばれた王の物語

チャンネル銀河では、これまでトルコ「オスマン帝国外伝」、スペイン「イサベル」、ロシア「エカテリーナ」などの世界各国の話題作をいち早く放送し、視聴者の皆様にご好評をいただいています。そしてこの度、**日本とポーランドが国交樹立100周年を迎える記念すべき年に、ポーランドドラマ「大王カジミエシュ～欲望のヴァヴェル城～」を日本初放送することになりました。**

本作は、国営 TV ポーランドで放送された超人気作で、チャンネル銀河で現在放送中の大ヒットトルコドラマ「オスマン帝国外伝」に着想を得て制作されたといわれ、本国で高視聴率を獲得しています。

ポーランドの中世史は日本ではあまり知られていませんが、**14世紀初頭のポーランドを大國に押し上げ、王国の歴史を通して唯一“大王”と称されたカジミエシュ3世の物語**です。神聖ローマ帝国、ドイツ騎士団などからの強い外圧に対し、武力ではなく柔軟な外交手腕で解決し、ポーランド王国の領土を広げていきました。さらには、法典の整備や通貨の発行など、内政においても改革を行っています。軍事・外交・内政のいずれにおいても大きな成功を収めたことから、**現在のポーランド紙幣にも描かれるなど、その功績は今も語り継がれています。**

本作では、神聖ローマ帝国、宿敵ドイツ騎士団など近隣国との戦いや、複雑な宗教問題、王室の世継ぎ問題、さらには、嫉妬、裏切り、欲望渦巻く王宮内の争いなど目が離せない展開の連続です。カジミエシュ3世は、いかにして偉大な王となったのか。ぜひご期待ください！

【作品情報】

「大王カジミエシュ〜欲望のヴァヴェル城〜」

放送日時：12月17日（火）スタート予定（月-金）深夜0：00-深夜1：00

出演：マテウシュ・クルル（カジミエシュ）、マルタ・ブリワ（アンナ）、ハリナ・ワボナルスカ（ヤドヴィガ）、ロベルト・ゴネラ（グロツ）、マルチン・ロガツェヴィチ（ヤシェック）、パウリナ・ラソタ（ツツカ）、ピョトル・ガヴロン＝イェドリコフスキ（ニエミエジャ） ほか

制作：2018年／ポーランド／字幕／全42話

【原題】The Crown of the Kings

©Telewizja Polska S.A.

カジミエシュ 3 世とは【在位：1333-1370 年】



ポーランドの歴史の中で、ただ一人“大王”と称された国王。中世末期のポーランドを東ヨーロッパの大国に押し上げ、ポーランド王国の基盤を作った。当時のポーランド王国は神聖ローマ帝国やドイツ騎士団などから外圧を受けていたが、カジミエシュ3世は武力ではなく外交によってこれらの脅威を排除し、通商を盛んにすることで国力を高めた。さらに、法典の整備や通貨の発行など、内政においても大きな成功を収めている。1364年には首都クラクフに国内初の大学を設立。また、西ヨーロッパで迫害されたユダヤ人を保護し、移民による植民も積極的に奨励するなど、ポーランドはカジミエシュ3世の時代に大国として大きく発展した。多くの城や市壁を築いたことから「木でつくられたポーランドに生まれ、レンガでつくられたポーランドを残した」とも言われている。

チャンネル銀河 歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた

大河「軍師官兵衛」、中国「月に咲く花の如く」、韓国「王の女」、トルコ「オスマン帝国外伝」他、日本初放送を含む世界各国の歴史ドラマから「松本清張サスペンス」、「孤独のグルメ」等の国内ドラマやNHKの豪華歌謡番組まで、大人世代の番組が満載のドラマ・エンターテインメントチャンネル。J：COMなど全国のケーブルテレビや、スカパー-!、IPTVを通じ、約572万世帯（2019年7月末現在）のお客様にご覧いただいています。 <https://www.ch-ginga.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

チャンネル銀河 PR担当 江戸野

TEL：03-6365-8480（代表） FAX：03-6365-8457